

平成 21 年度

事業報告書

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

財団法人 大阪デザインセンター

平成21年度 事業報告の概要

平成21年度は、厳しい当法人の財政事情を踏まえ、「身の丈」改革に新たに取り組むとともに、本年10月の創立50周年を前に、今後、どのように組織の再生を図っていくかが課題であった。

「身の丈」改革では、1960（昭和35）年から続けてきた「グッドデザイン商品の選定・展示事業」について、関係者の中からはいろいろな意見をいただきながらも、出展件数の減少等もあり財政面から21年度は休止を判断したが、本年度は、「社会や商品開発動向の変化に対応した新たな事業構想を策定する」ための検討委員会を立ち上げることとしている。創立50周年にかかる「ODC50年の歴史」については、記念誌に代え「DESIGN LINK OSAKA」を活用し、昨年10月から連載中である。また、事務局体制についても、これまで以上の減量経営に踏み込んでいる。

一方、組織の再生を図る観点から、デザイン関係者の交流や情報発信の場を新しく創りだすため、関係者の協力を得て「ODCサロン」を2回実施した。新しい取組には、参加者からの期待があり、今後のODCの発展に繋げていく必要がある。

従来から実施してきた諸事業は、おおむね例年と同様であるが、「デザインビジネスプロモーションセンターの運営」では、「デザイン一般相談・利用件数」などで年々、着実に利用件数を伸ばしており、利用者の満足度も90%を超えている。また、デザイン人材の育成にかかる「デザイン学生に対するインターンシップ支援事業」では、対象を大学等に広げ、過去最高の71名の応募があった。インターンシップ終了後のアンケートでは、全員が「今回の実習は大いに有意義であった」と回答している。「デザインマネジメント研究会」では、「塾長の豊富な経験を基盤とした企画で有益であった」などの評価を得た。年間4回発行の情報誌「DESIGN LINK OSAKA」も新鮮な情報、充実した論評、フルカラーによる誌面等が好評であった。

(財)国際デザイン交流協会(略称 JDF)が昨年3月31日に解散され、昨年10月、JDFの基金の大半が当法人に寄付された。継承資産の活用については、(財)国際デザイン交流協会継承資産運営委員会で審議することとしており、「デザイン振興を通じて、大阪の中小企業や経済の発展をいかに図るか。」といった観点から、事業の検討など2回にわたり委員会を開催した。大阪・関西のデザインを取り巻く現状、課題、目標設定などを共有認識するため、「大阪・関西におけるこれからのデザインの取り組みについて」をまとめ、平成22年度予算では、「人材育成とその活用」「大阪・関西のデザインに対する意識改革と発信力強化」に重点をおき、いくつかの新しい事業をスタートさせることができた。

「人材育成」・「情報発信」等の新しい事業が、当法人の組織再生に繋がることを期待し、多くの関係者の協力を得て、それぞれの事業を着実に推進していく必要がある。

I. 総務に関する報告

1. 理事会・評議員会の開催

(1) 第39回評議員会の開催

- ・日 時 平成21年5月27日(水)午後3時～3時45分
- ・場 所 A T C 輸入住宅促進センター セミナールーム (ITM 棟9階)
- ・報告事項 ① 寄付行為の変更の件
② 第75回理事会に関する件
③ 平成20年度事業報告(案)に関する件
- ・議 案 ① 役員を選任に関する件
② 公益法人改革にかかる今後のスケジュールに関する件

(役員登記)

平成21年8月11日付、理事3名を大阪法務局へ登記した。

任期 平成21年5月27日～平成22年5月27日

(2) 第76回理事会の開催

- ・日 時 平成21年5月27日(水)午後4時15分～5時25分
- ・場 所 A T C 輸入住宅促進センター セミナールーム (ITM 棟9階)
- ・報告事項 ・ 第39回評議員会に関する件
- ・議 案 ① 平成20年度事業報告及び収支決算承認に関する件
② 「(財)国際デザイン交流協会継承資産運営委員会」委員の委嘱に関する件
③ 公益法人改革にかかる今後のスケジュールに関する件

(3) 臨時理事会・臨時評議員会の開催

- ・日 時 平成21年11月17日(火)午後3時～4時15分
- ・場 所 A T C 輸入住宅促進センター セミナールーム (ITM 棟9階)
- ・報告事項 ① (財)国際デザイン交流協会(略称:JDF)解散の経緯と(財)大阪デザインセンター(略称:ODC)への残余財産の寄付について(理事会・評議員会関係)
② (財)JKAへの申請書提出問題について(理事会・評議員会関係)
③ (財)国際デザイン交流協会継承資産運営委員会第1回委員会について(理事会・評議員会関係)

- ④ その他（事業報告）（理事会・評議員会関係）
- ・議案 ① JDFからの寄付金の基本財産への繰入れについて（案）
（理事会・評議員会関係）
- ② 平成21年度補正予算（案）について（理事会関係）
- ③ 資産運用規程（案）について（理事会関係）
- ④ 役員の在任年齢に関する規程（案）について（理事会関係）

（4）第77回理事会・第40回評議員会の開催

- ・日時 平成22年3月26日（金）午後1時～2時17分
- ・場所 ATC輸入住宅促進センター セミナールーム（ITM棟9階）
- ・報告事項 ①（財）国際デザイン交流協会継承資産運営委員会第2回委員会報告について（理事会・評議員会関係）
- ② 香港貿易発展局からの招待と香港デザインセンターの受入れについて（理事会・評議員会関係）
- ・議案 ① 平成22年度事業計画及び収支予算（案）に関する件（理事会関係）
- ② 寄付行為の変更に関する件（理事会・評議員会関係）

2.（財）国際デザイン交流協会継承資産運営委員会の開催

（1）第1回委員会の開催

- ・日時 平成21年10月22日（木）午後1時30分～2時55分
- ・場所 大阪府産業デザインセンター会議室（マイドームおおさか4階）
- ・報告事項 ①（財）国際デザイン交流協会（略称JDF）解散の経緯と（財）大阪デザインセンター（略称ODC）への残余財産の寄付について
- ②（財）JKAへの申請書提出問題について
- ・議案 ① 委員長・副委員長の選任について
- ② 資産運用規程（案）の策定について
- ③ JDFからの寄付金受入に伴う財産の管理について（案）
- ④ 平成21年度補正予算（案）の作成について
- ⑤ その他（JDFの資産を活用した事業の検討について他）

（2）第2回委員会の開催

- ・日時 平成22年3月1日（月）午後3時～4時25分

- ・場 所 大阪府産業デザインセンター会議室(マイドームおおさか4階)
- ・報告事項 ① 「デザイン都市・神戸」の取り組み
 - ② アジアの現状について(「JDF アーカイブス」—アジアデザインネットワーク会議2008—より、「香港」・「韓国」について)
 - ③ 「JDFの公文書」保管にかかる経費支出について
- ・協議事項 ① 大阪・関西のデザインをめぐる現状認識と課題の共有について
 - ② 継承資産の運用について
 - ③ 理事会に提出する「(財)JDF 継承資産を活用した22年度の事業計画及び収支予算(案)」について
 - ④ その他

II. 事業に関する報告

1. 「大阪デザイン振興プラザ」事業

大阪デザイン振興プラザ(以下「プラザ」という。)が、大阪デザインビジネスの拠点としての役割を果たすため、次の事業を実施した。

(1) デザインビジネスプロモーションセンターの運営

中小企業のデザイン導入・活用に関するあらゆる相談や情報提供、さらには要望に応じた専門プロデューサーの派遣指導やデザイン事務所の紹介を行うなど、中小企業とデザイナーとのビジネスマッチングに努めた。また、大阪産業創造館と連携の下、「ものづくりデザイン個別相談会」の実施や展示商談会にも積極的に出展した。

なお、「デザイナー・デザイン事務所の紹介」「専門プロデューサーによる派遣相談・指導」利用者のアンケート結果(回収率 約1/3)によると、デザイン相談について、「大変満足」「まあ満足」が全体の94.1%、「今回のデザイン相談でデザインの課題は解決できそうか」との問いに対し、「改善できる」が72.0%、「今後引き続き、相談あるいはデザイナーに依頼する予定があるか」との問いに対し、「予定している」が58.8%となっている。

① デザイン一般相談・利用

一般相談・利用件数 4,139件

(内訳)

デザイナー一般 に関すること	デザイナー紹介 に関すること	プロデューサー派遣 に関すること	データベース に関すること	その他	合計
2,112	854	663	411	99	4,139

② デザイナー・デザイン事務所の紹介

依頼件数 96件 紹介件数 107件

(内訳)

プロダクトデザイン分野		スペースデザイン分野		コミュニケーションデザイン分野		合計
成約 (開発中含む)	28	成約 (開発中含む)	4	成約 (開発中含む)	27	59
交渉中	9	交渉中	0	交渉中	7	16
不成約	8	不成約	7	不成約	17	32
合計	45	合計	11	合計	51	107

※成約件数には、1案件 (1企業) と複数デザイン事務所とのマッチングもカウント

③ 専門プロデューサーによる派遣相談・指導

派遣件数 98件

(内訳)

プロダクトデザイン分野	スペースデザイン分野	コミュニケーションデザイン分野
51件	23件	24件

④ 大阪産業創造館との連携事業

(内訳)

- ものづくりデザイン個別相談会 (共催)
 - 第1回 平成21年7月22日開催 (工業デザイン) 参加9社
 - 第2回 平成21年11月19日開催 (商品パッケージ、販促ツール)
参加13社
 - 第3回 平成22年3月4日開催 (工業デザイン) 参加7社
- もの広場<ものづくり企業のための交流会～ビジュアルデザイン編>
(協力)
 - 平成21年6月11日開催 相談件数10件、デザイナーへの出展案内
- セールスプロモーションフェア (出展)
 - 平成21年6月17日開催 相談件数30件
- 飲食 de 開業しメッセ! (出展)
 - 平成21年6月27日開催 相談件数18件
- 大阪発! ファッション・アパレルビジネス展 (出展)

平成 22 年 1 月 27 日開催 相談件数 24 件

○ 機械製品 設計ソリューションフェア（協力）

平成 22 年 3 月 11 日開催 相談件数 15 件、デザイナーへの出展案内

⑤ 広報活動

広く中小企業に対して、本事業をPRするため、地下鉄駅等でのポスター掲出や産業振興機関でのチラシ配付、情報誌での事例紹介を行うとともに、ホームページで情報発信して広報を行った。また、「大阪産業創造館 b-platz press」や「大商ニュース」、「OCS ニュース」等のメディアへも広告を掲載した。

(2) デザイン工房等の運営

様々な分野で活躍する新進デザイナー、クリエイターのインキュベート（育成）を目的に設置されたデザイン工房をはじめ、ワークルーム、交流サロン、会議室などの運営・管理や工房入所者の作品展を行い、デザイナーの育成と情報発信などに努めた。

- ① インキュベーションオフィス入所事務所数 8 事務所
- ② デザイナーオフィス入所事務所数 29 事務所
- ③ 第 14 回デザイン工房入所者作品展

入所者の成果発表の場として、作品を一堂に展示した。

- ・タイトル 2010 大阪南港クリエイターズフェスタ
- ・会 期 平成 22 年 3 月 11 日(木)～14 日(日)、19 日(金)～22 日(月)
- ・会 場 ATC ビル ITM 棟 10 階 スカイロビー
- ・入場者 259 名

(3) イベント企画、ライブラリー、交流サロン等の管理

「プラザ」が主催するセミナーなどのイベント企画・実施のサポートをはじめ、ライブラリー、ショーケース、交流サロン等の管理を一元的に行い、デザイン情報発信拠点としての役割を果たした。

- ① 企画運営会議 ・開催数 11 回
- ② 主なイベント開催状況 ・展示会 7 回 ・セミナー 3 回

《内訳》

テ ー マ	開 催 期 日	区 分
第 41 回毎日・DAS 学生デザイン賞 金の卵賞入賞・入選作品展	平成 21 年 5 月 30 日 ～6 月 4 日	展示会
神戸サチパッチワークキルト展	平成 21 年 11 月 27 日～30 日	展示会
第 24 回毎日・DAS 学生デザイン賞 銀の卵賞／高校生デザイン賞作品展	平成 22 年 1 月 30 日 ～2 月 3 日	セミナー
2010 大阪工芸展	平成 22 年 2 月 19～23 日	展示会
京都精華大学プロダクトデザイン学 科展	平成 22 年 2 月 26～28 日	展示会
創造社デザイン専門学科進級・卒業 展	平成 22 年 3 月 2～7 日	展示会
第 3 回エコ・デザインコンペ入賞作 品展	平成 22 年 3 月 11 日	展示会
第 3 回エコ・デザインコンペ入賞作 品展 記念講演会	平成 22 年 3 月 11 日	セミナー
ATC 関西学生卒業作品展 Vol.15	平成 22 年 3 月 11～22 日	展示会
ATC 関西学生卒業作品展 記念講演 会	平成 22 年 3 月 21 日	セミナー

④ 主な視察・見学状況 来館件数 14 件 来館者総数 140 人

韓国 光州大学校	平成 21 年 4 月 22 日	60 人
(社) JIDA 会員	平成 21 年 5 月 22 日	2 人
台湾工業技術研究院	平成 21 年 5 月 26 日	2 人
京都工科専門学校	平成 21 年 6 月 16 日	5 人
神戸市役所企画調整課	平成 21 年 7 月 7 日	3 人
特許庁審査業務意匠課	平成 21 年 7 月 8 日	1 人
大阪芸術大学	平成 21 年 8 月 10 日	2 人
ソフト産業プラザイメディオ入所者	平成 21 年 8 月 21 日	4 人
きんき環境館	平成 21 年 9 月 1 日	1 人
大阪府立南港造形高校	平成 21 年 9 月 11 日	1 人
奈良芸術短期大学	平成 21 年 9 月 14 日	1 人
福岡県大川家具工業組合青年部	平成 21 年 9 月 18 日	20 人
京都精華大学	平成 22 年 1 月 29 日	18 人
香港デザインミッション	平成 22 年 3 月 5 日	20 人

※上記事業のうち(1)については大阪市、(2)(3)については ATC (アジア太平洋トレードセンター) からの受託事業。

2. グッドデザイン啓蒙事業

新たなグッドデザインの啓蒙事業を検討するため、大阪はもとより関西の中小企業のデザイン開発を支援する目的で、「デザイン開発優秀企業表彰（仮称）のあり方」について、調査・研究を行うこととしていたが、関係者とのヒアリングを通じて、事業対象や継続性の問題などの指摘を受け、年度内に一定の考え方を取りまとめるには至らなかった。

なお、過去に選定されたグッドデザイン商品については、ホームページで消費者に紹介した。

また、当センターの常設展示コーナーで、グッドデザインに選定された平成20年度年間賞受賞商品等を選評（年間賞のみ）とともに展示した。

3. 研修・教育事業

(1) デザイン学生へのインターンシップ支援事業

平成14年度からインターンシップ支援事業に取り組み、平成19年度から、(財)JKAの補助事業及び大阪市の分担事業として実施してきた。

受入事務所については、当初から大阪デザイン振興プラザ・デザイン工房入所のデザイン事務所の協力を得て実施してきたが、21年度は、新たに府下のプロダクト系デザイン事務所にも呼びかけた。

実習生についても、当初から、将来デザイナーを志望するデザイン専門学校生を対象に実施してきたが、21年度は、新たに、デザイン学科を有する短大、大学にも対象を拡大した。

その結果、受入事務所の応募が22社から33社に、学生の応募が38名から71名にそれぞれ前年度を上回った。受入学生については、実行委員会で希望の多い受入デザイン事務所を優先して選定し、応募者の応募動機・熱意等を勘案し、慎重に選考した。

学生が夏休み期間にデザイン事務所で就業体験することにより、デザイナーとして必要な知識や技術を習得し、学校では得られない自己発見と社会人として高い職業観の醸成を図ることを目的に事業実施した。

また、インターンシップ終了後、実習生と受入事務所に集まっていただき、成果等を語り合う「座談会」を実施した。

なお、インターンシップ終了後の実習生のアンケート結果(22人)によると、「実習期間(20日間)」については、「少し長すぎる」8人、「ちょうど良い」11人、「少し短すぎる」3人、「この事業がデザイン人材の育成に役立つと思うか」

との問いに対し、「大いに役立つ」21人、「少しは役立つ」1人、「デザイン学生（後輩）のために今後もこの事業を続けることが望ましいか」との問いに対し、「大いに思う」21人、「少しは思う」1人、「今回の実習はあなたにとって有意義でしたか」との問いに、全員が「大いにあった」との回答を得た。

- ・ 実施期間 平成21年7月13日（火）～10月16日（金）のうち20日間
 - ・ 実施場所 大阪デザイン振興プラザ・デザイン工房内デザイン事務所及び大阪市内・近郊のデザイン事務所
 - ・ 受入事務所 22社
 - ・ 実習生 22名（大学生 7名、デザイン専門学校生 15名、男子7名、女子15名）
- 座談会
- ・ 開催日時 平成21年10月20日（火）午後4時から5時30分
 - ・ 開催場所 大阪デザイン振興プラザ・交流サロン
 - ・ 参加者 実習生 12名、受入事務所 9社

(2) デザインマネジメント研究会の開催

デザインマネジメントに対する理解を深め、デザインを戦略的に活用する総合的なマネジメント手法について研究することを目的に「デザインマネジメント研究会」を実施した。

なお、参加者アンケートでは、「業種や立場の違う方々から生の声が聞け、自分のデザインに対する考え方の刺激になった。」「現在の時流に欠かせない話題を提供いただき、興味深く話が聞けた。」「塾長の豊富な経験を基盤とした企画で有益であった。」などの回答を得た。

- ・ 開催期間 平成21年7月30日（木）～9月17日（木）
午後6時15分～午後8時30分
- ・ 会場 大阪産業創造館 6階会議室
- ・ 塾長 坂下 清氏 （財）大阪デザインセンター理事長
- ・ ゲスト講師 佐藤 典司氏 立命館大学経営学部教授
吉田 順一氏 北海道大学・大学院（観光創造専攻）
観光学高等研究センター教授
- ・ 受講者 8名

※ 上記事業のうち（1）については（財）JKAの補助事業、大阪市の分担事業。

4. 調査・情報事業

(1) 情報誌「DESIGN LINK OSAKA 中小企業のためのデザイン情報」の刊行

中小企業経営者ならびに商品開発担当者に対して、今日の経営の基盤強化に欠かすことのできないデザインについて、あらゆる角度から情報の収録・紹介を行い、経営の活性化とデザイン水準の向上、ひいては大阪産業界のデザイン振興に寄与することを目的として発行した。

なお、「DESIGN LINK OSAKA」の読者アンケートによると、「本誌全体の満足度」については、「満足」「やや満足」で91.4%、「内容・構成」については、「満足」「やや満足」で96.6%、「デザイン」については、「満足」「やや満足」で91.4%、「ページ数」については、「満足」「やや満足」で43.1%であった。

- テーマ 「交流」・「視点」・「感性」・「価値」
- 発行回数 年4回（7月、11月、1月、3月）
- 発行部数 各号1,000部
- 配付先 企業、業界団体、デザイン事務所、デザイン関係機関・団体等

(2) 「大阪デザインセンター交流サロン&トークセッション」の開催

大阪デザインセンターがデザイン関係者の新しい情報交流を図る場として、「ODC 交流サロン」を実施した。graf 代表 服部滋樹氏をメインに、ゲストのデザイナーとトークセッションを行った。

なお、参加者からは、「トークセッションの対比的な進め方がよかった」「ゲスト講師の話は興味深く、まだまだ聴きたかった。」「聴けば聴くほどよく理解でき、内容も参考になった。」「交流会でゲスト講師と個人的に話ができればもっとよかった」などの感想をいただいた。

○ 第1回テーマ「アナログか？デジタルか？」

開催日時 平成21年10月15日（木）午後6時30分～午後8時30分
会場 メビック扇町
講師 服部 滋樹氏（graf 代表）
野井 成正氏（野井成正デザイン事務所代表）
参加者 39名

○ 第2回テーマ「ほんの些細な領域から」

開催日時 平成22年2月24日（水）午後6時30分～午後8時30分
会場 A T C 10F スカイアトリウム

講 師 服部 滋樹氏 (graf 代表)
坪 文子氏 (アトリエドーム彫金教室主宰)
参加者 52 名

(3) ソウルデザインオリンピック2009の視察

「ソウルデザインオリンピック」はソウル市が 2007 年に国際インダストリアルデザイン団体協議会から 2010 年の「世界デザイン首都(WDC=World Design Capital)」に選ばれたことを記念し、2008 年から開催されている世界デザインフェスティバルであり、2009 (平成 21) 年 10 月 9 日 (金) から 29 日 (木) の 21 日間、1988 年のソウルオリンピックのメインスタジアムとして使われたソウル蚕室 (ジャムシル) 総合運動場 (収容約 7 万人) をメイン会場に開催された。

越田副理事長、望月専務理事の 2 人が 10 月 28 日 (水) ~30 日 (金) の間訪問し、「i DESIGN」をテーマに、市民参加でソウル市挙げて「すべての人がデザイナーである。」として取り組まれている姿を視察した。

呉ソウル市長は「世界の主要都市との競争で生き残るためには、デザインに重点を置くべきと悟った。」と言われ、デザイン産業 4 大拠点地区やデザイン・ソウル構想計画などを発表し、デザイン産業の育成に取り組んでいる。

(4) 香港貿易発展局からの招待と香港デザインセンターの受入

① 香港貿易発展局からの招待

香港貿易発展局から坂下理事長に対し、「イノベーション&デザインテクノロジー・エキスポ 2009」及び同時に開催された「ビジネス・オブ・デザイン・ウィーク」に招待があり、昨年 12 月 2 日 (水) から 5 日 (土) まで、香港を訪問した。

② 香港デザインセンターの受入

本年 12 月に香港で開催される「ビジネス・オブ・デザイン・ウィーク」のパートナー都市が日本と決まり、3 月に香港デザインセンターの方々がその打ち合わせのため東京に来られた。その帰途、3 月 5 日 (金) に大阪デザインセンターを 20 名の方が訪問され、理事長はじめ、デザイン関係者との交流や施設見学等の受け入れを行った。

(5) デザイン事務所のデータベース整理及び管理

ビジネスマッチングに活用するための在阪デザイン事務所等のデータについて、得意分野・開発事例など関連情報を収集の上、利用者のニーズに応じて閲覧を行った。また、登録デザイン事務所に対して、関連するイベント・セミナー等の情報を提供した。

○ 登録デザイン事務所数	245 社
・プロダクトデザイン分野	73 社
・スペースデザイン分野	33 社
・コミュニケーションデザイン分野	139 社

※ 上記事業のうち（１）については大阪市からの受託事業。

5. 創立 50 周年記念事業

当センターの創立 50 周年を前に、情報誌「DESIGN LINK OSAKA」にて、「大阪のデザイン振興と ODC」と題し、大阪芸術大学名誉教授の西尾 直氏(当法人 監事)による連載記事を VOL. 45（平成 21 年 10 月発行）以降、5 回にわたって掲載中である。（デザイン振興行政の経緯や ODC 活動を年表（1960 年～）とともに振り返っている。）

6. (財)国際デザイン交流協会継承資産運営委員会

(財)国際デザイン交流協会が昨年 3 月 31 日に解散し、代表清算人から当法人に対し、昨年 10 月 6 日付で、「当協会の残余財産の譲渡について」の文書が送付され、譲渡金額 746,881,777 円（内訳 現金預金 56,125,777 円、有価証券 690,756,000 円）が示された。

国デ協の継承資産については、(財)国際デザイン交流協会継承資産運営委員会（構成：大阪府、大阪市、大阪商工会議所、近畿経済産業局の役職員の中からそれぞれ 1 名を理事会の同意を得て理事長が委嘱する。）で、引継がれた財産の管理や同財産をもって行う事業に関し、理事会に提出する収支予算、事業計画などについて審議を行うこととなっている。

運営委員会は 2 回開催（平成 21 年 10 月 22 日（木）、平成 22 年 3 月 1 日（月））し、デザイン振興を通じて、大阪の中小企業の発展や経済発展に有効に活用するための具体案を策定するため、「デザイン都市・神戸」の取り組みや「韓国、香港の現状」などの分析も行いながら、「大阪・関西のデザインをめぐる現状認識と課題」の共有を行い、「大阪・関西におけるこれからのデザインの取り組みについて」をまとめた。「デザインを取り巻く現状（共通認識）」「解決すべき課題」「目標設定」「取り組みの柱」「推進体制」「具体的取組案」で構成し、「取り組みの柱」では、「デザインビジネス促進による普及啓発」「人材育成とその活用」「大阪・関西のデザインに対する意識改革と発信力強化」の 3 項目を掲げた。

継承資産の平成 22 年度に活用できる予算原資との関係もあり、平成 22 年度は「人材育成とその活用」「大阪・関西のデザインに対する意識改革と発信力強化」に重点的に取り組むこととし、理事会に提出する平成 22 年度の事業計画と予算案など

を集約した。

7. ものづくり活力創造事業

中小企業において、デザインの一層の活用が図れるよう大阪産業創造館との連携の下、下記事業を実施した。

○ ものづくりデザイン開発事例セミナー

「三社三様、先進的企業に学ぶ～デザイン活用で切り拓くビジネス戦略」

- ・開催日時 平成21年9月16日（水）午後1時30分～3時30分
- ・開催場所 ATC 南港サンセットホール
- ・講師 羽場一郎氏（イデア株式会社 代表取締役）
稲葉 修氏（株式会社広栄社 代表取締役）
岩崎 隆氏（城東紙器株式会社 代表取締役）
- ・参加者 49名

8. デザイン団体支援事業

大阪デザイン団体連合機構をはじめ、(社)日本インダストリアルデザイナー協会 関西ブロック、(社)日本インテリアデザイナー協会関西事業支部、(社)日本商環境設計家協会関西支部、日本デザイン・ソサエティ、熟年女性デザイナー協会などの委託を受け、各団体の事務局業務を推進し、各団体の支援に努めた。

9. その他の事業

(1) 商工経済団体との連携

大阪商工会議所、大阪府中小企業団体中央会、大阪府商工会連合会、大阪市工業会連合会及び大阪卸商連盟など商工経済団体との連携の下、諸事業の推進とPRに努めた。

(2) 賛助会員加入促進の強化

センターの財政基盤の強化を図るため、市内デザイン事務所を中心に積極的な加入勧奨に努めた。

- 賛助会員数 165社

(3) デザイン関連事業の後援、協賛状況

デザイン関連諸事業に対して、後援（13件）、協賛（1件）、特別協力（1件）を行った。

(内訳)

開催日	名称	団体名	区分
平成21年5月 20・21日	第85回大阪ハンドバッグ大展示会	大阪ハンドバッグ工業組合	後援
6月1日～9月 18日	襖絵デザインコンペティション	関西襖内装事業協同組合	後援
6月17～19日	SIGN EXPO2009 (第24回広告資機材 見本市)	近畿屋外広告美術組合連合	後援
6月19～21日	コミックアートフェスタ	大阪総合デザイン専門学校	後援
6月22日～11月 26日	若者によるエコ・メッセージポス ターデザイン	地球環境関西フォーラム	後援
7月16日～8月 15日	第29回大阪都市景観賞	大阪都市景観建築賞運営委 員会	協賛
9月6日～平成 22年3月7日	「インテリジェント・デザイン」 セルカン・カレッジ大阪	(株) こふれ	特別 協力
9月16日～18日	「リビング&デザイン」	(社) 大阪国際見本市委員 会	後援
10月23日	JCD KANSAIデザイナーズ アクセ ス	(社) 日本商環境設計家協会 関西支部	後援
11月11日	2010 NDCモードコレクション	(社) 日本デザイナーズク ラブ関西支部	後援
11月12日	DDA創立50周年記念シンポジウム 09	(社) 日本ディスプレイデ ザイン協会	後援
11月27日	DAS DIGITAL COMMUNICATIONS FORUM 2009	(社) 総合デザイナーズ協 会	後援
平成22年2月 19～23日	2010大阪工芸展	(社) 大阪工芸協会	後援
2月25日	JCD/DAIKO 連続デザインシンポ ジウム	(社) 日本商環境設計家協会	後援
3月19～24日	ATC関西学生卒業作品展 Vol.15	アジア太平洋トレードセン ター (株)	後援

(4) グッドデザイン選定商品にかかるマークの使用

選定商品に対して、大阪デザインセンターマークの使用を認め、すぐれたデザイン商品の販促活動を助成した。

・ マーク使用件数

1 件